

---

## 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第61号（通巻第128号）

---

2007年9月28日  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL：055-220-8325， FAX：055-220-8790  
E-mail：jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
URL：http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

### ■ 第2回期間採用者等研修のご報告（山梨大学地域連携事業）

今年度2回目の期間採用者等研修を8月3日（金）に開きました。講師には、現在、指導的立場でご活躍中の小・中・高・養護学校の先生方や元管理職の先生方11名をお迎えし、校種別に教科や生徒指導等に関して1日研修を実施しました。当日は期間採用や非常勤等がされている先生方57名が参加し、最後まで熱心に研修されました。



受講生からは「貴重な経験をさせていただいた。たいへん参考になった。頑張ろう！という活力もわいてきた」「自分のスキルアップのために、これからも参加したい」「期採などでは、なかなか研修等がないので、とてもためになった。実際の授業にいかしたい」等の感想が寄せられました。なお、3回目を12月1日（土）に予定しております。

### ■ 若手教員研修のご報告（山梨大学地域連携事業）

今年度の若手教員研修は8月10日（金）午後、本学障害児教育講座鳥海順子教授の「教育相談から考える子ども・保護者・教師の悩み」を基調講演とし、小学校教育、中学校教育、高等学校教育、特殊教育の分科会ごと、4名のベテラン現職教員をグループアドバイザーとして研修を深めました。当日は基調講演、分科会を含めて26名の若手教員が参加しました。参加者からは「教師としてどうすべきなのか、大変刺激を受けた。とても有意義な学習会だった」「分科会は、少人数で意見を出し合い、互いの考えを交換できてよかった。2時間があっという間だった」「今後もこのような研修の場を設けていただきたい」「グループ討議で今回は校種別に分けられていたが、異校種の先生の話も聞ける機会がほしい」等の感想が寄せられました。

### ■ 「PISA型読解力を育てるために」～第2回連携・教育研究会のご報告～

9月18日（火）、県総合教育センターにおいて、第2回地域貢献教育研究会改め「連携・教育研究会」を開催しました。今回は、大学側からの情報及び研究の紹介ということで、国語教育講座の岩永正史教授から、「PISA型読解力を育てるために」というテーマでご講演いただきました。今回は、山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センターと山梨県総合教育センター共催の「PISA型読解力に関する講演会」という形をとり、メンバー以外にも、広く県下の学校の先生方に参加を呼びかけました。当日は、小中学校、高等学校、特別支援学校の校長先生をはじめ先生方、県や市町村の教育委員会・教育事務所の指導主事の先生方、教育センターの先生方、山梨大学の学生など合計約160名の参加がありました。今後も、教育現場の課題に沿ったタイムリーな講義を望む声や、教育センターと大学が連携した講演会や学習会をさらに期待する声が聞かれました。

## ■ 特別支援教育基礎研修のご報告

今年度の特別支援教育基礎研修を本学教育人間科学部附属特別支援学校との共催で8月10日(金)午前中に開催しました。健康科学大学教授の池田由紀江氏を講師にお招きし、「これからの特別支援教育」について講演していただきました。教員を中心に86名の参加があり、特別支援教育を実践していく上での具体的かつ切実な質問が多く寄せられ、参加者からも共感する声が多く寄せられました。

## ■ 「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。報告用紙は庶務事務室入り口左手の共通レターケースの中にあります。提出は随時受け付けておりますので、鳥海のレターケース(障害児教育講座)にお入れください。